

令和7年度 各市民センター（地区センター機能）の利用状況

概要

令和6年4月から市内8地区に「市民センター」を設置し、地区センターの4つの機能として、従来の公民館機能に新たな機能を位置づけた。本資料では、令和7年度における、各市民センター（8館）に関して、各機能の概要及び利用状況を示すもの。

（1）地域まちづくりの拠点としての機能

①自治会支援の拡充・・・自治会からの各種提出書類及び自治会運営等に関する相談窓口を設置するなど自治会運営や自治会活動を支援している。自治会の総会・役員会等で地区センターを使用する際の使用料を免除としているほか、令和7年5月から、自治会運営に関する書類の提出を可能としたほか、防鳥ネットの配布を開始するなど、申請受付内容を拡充した。

【主な実施状況】

- ・自治会の総会等での会議室等の利用免除件数 220 件（上位：武里 120 件、豊春 41 件、庄和 24 件）
- ・ゴミ集積所の防鳥ネットの貸与件数 47 件（上位：幸松 14 件、豊野 8 件、武里大枝 8 件）

他に広報配送先変更届の提出受付などあり

②地域づくり推進協議会・・・地域の方々と共に地域の課題などを協議し、地域コミュニティの活性化を図るための取り組みを考える「地域づくり推進協議会」を設置し、意見交換を行う。

【概要】令和7年度は地区ごとに3～4回開催。地区の実情に応じた課題を設定し課題解決に向けた意見交換等を行い、令和7年度中にまとめた内容に基づき市長への中間報告を実施。その後、令和8年度中の事業化等を目指す。

（2）防災・防犯の拠点としての機能

・地域での災害発生時の体制強化として、自治会と連携し避難所開設訓練や避難所運営訓練、防災関係の学習会などを実施した。

- ・防犯意識の向上として、特殊詐欺・消費者被害防止や交通安全に関する講習会を実施した。
- ・令和8年度も、防災、防犯それぞれの事業に関して、各地区2回以上実施予定。

（3）こどもの居場所づくりとしての機能

①学習スペース・・・小・中・高校生などを対象に各施設の共用部に学習スペースを設置

（粕壁市民センター約40席、その他の市民センター約10席）

【利用状況】延べ36,122人

（上位：粕壁14,229人、豊春7,103人、幸松6,562人）

②こどもの遊び場・・・施設の一部（会議室、講堂など）を小学生に遊び場として開放。

また、各市民センター独自にこどもの遊び場と関連付け、時節に応じた事業を展開。

【利用状況】延べ12,326人

（上位：豊春3,869人、粕壁2,998人、武里1,671人）

（4）各種証明書発行の機能

①キオスク端末の設置・・・住民票や印鑑登録証明書など各種証明書を取得できる、キオスク端末（マルチコピー機）を設置。諸活動の資料印刷等のためのコピー利用も可能。

【利用状況】

証明書発行枚数 641 枚（上位：豊春 180 枚、武里大枝 92 枚、武里 91 枚）

コピー利用枚数（白黒＋カラー）22,576 枚（上位：庄和 6,081 枚、粕壁 4,085 枚、武里 2,993 枚）